

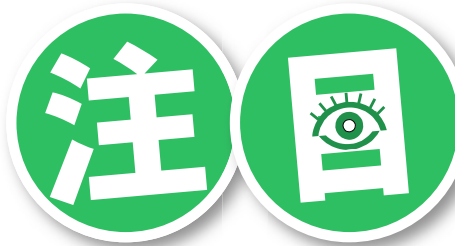
予算総額 557億115万円

一般会計 352億1,900万円 特別会計 204億8,215万円

平成25年度予算編成の6つの柱

- 1 新しい活力を創造するまち
- 2 未来の燕を担う子どもたちを育むまち
- 3 生きがいとやさしさを実感できるまち
- 4 快適で住みやすく、愛着を感じるまち
- 5 利便性が高く、にぎわいを創るまち
- 6 市民とともに築くまち

新規事業に



新しい活力を

新 (仮称)つばめ未来産業プロジェクト
366万5千円 【商工振興課】
燕産地の技術基盤形成や新産業の創出に向けて、市内企業との協働による研究会を設置します。

新 新観光協会の立ち上げ
2,082万3千円 【商工振興課】
◆統一された観光協会として、全市的な観光案内業務、観光情報発信業務を実施します。
◆春の「分水おいらん道中」、秋の「酒呑童子行列」を開催します。

生きがいとやさしさ

新 骨髄移植実現とドナー支援事業
14万円 【健康づくり課】
骨髄移植の実現とドナー登録者の増加を図るため、骨髄提供者に対し奨励金を交付します。
◆骨髄提供1回につき、入院1日2万円(14万円を限度)

新 福祉総合相談窓口の設置
285万9千円 【福祉課】
多岐にわたる相談に対応するため、相談支援の分野を超えた連携体制を整備し、福祉の初期相談窓口の設置や、きめ細かな相談支援の実現を図ります。

子どもたちを育むまち

新 Jack&Betty プロジェクト
(世界に通じる人材育成事業)
2,885万8千円 【学校教育課】
燕の未来を担い、次世代をリードする人材を育成するために、幼保・小・中を通じて国際理解教育及び英語教育の一層の充実・推進を図ります。
◆ALTの継続配置・英語指導助手の増員(2人⇒5人)
◆英会話教室(小1~小4)・英語クラブ(小5~中2)の開設
◆将来を担う中学生を対象に海外派遣事業を実施(英語スピーチコンテストを開催し、選考により派遣します)

病児・病後児保育の推進
1,440万円 【子育て支援課】
子どもが病気になった際にも、保護者が安心して子育てと仕事を両立できるよう、病児・病後児の保育サービス実施に向けた体制づくりを推進します。

新 医療機関併設型の病児・病後児保育施設の整備促進
市内の小児科医院が併設型の病児・病後児保育施設を整備する費用の一部を助成します。(吉田地区)
⇒平成26年度からのサービス開始を目指します。

継 ファミリー・サポート・センターを活用した病後児保育の取り組み
ファミリー・サポート・センターを活用した病後児保育の開始に向け、講習会を開催し、提供会員の養成を図り、病後児保育の受け入れ体制をつくります。

住みやすいまち

新 予約制乗合ワゴン車運行事業
(おでかけきららん号)
3,501万7千円 【生活環境課】
高齢者などの交通手段を持たない方々に対し、交通手段を提供し、暮らしやすい環境を確保するため、予約制乗合ワゴン車「おでかけきららん号」(デマンド交通システム)を運行します。
◆運行日:月~金曜日(祝日・年末年始は運行しません)
◆利用料金:中学生以上300円 小学生100円 ※未就学児無料
◆運行時間:午前7時便から午後5時便まで(1時間ごと)



斎場・墓地の施設拡充
7億7,018万1千円 【生活環境課】
拡 斎場建設事業(斎場建設事業費負担金)
老朽化した斎場の隣接地に、環境やバリアフリー等に配慮した新斎場を建設します。

新 市営墓地整備・拡張事業
墓地の需要が高まっているため、市営墓地の拡張に伴う測量・設計を行います。

市民とともに

新 つばめ若者会議事業
815万円 【地域振興課】
子どもたちに引き継ぎたい燕市の未来ビジョンを若者の手によって策定するためのワークショップを開催するなど、若者の元気をまちづくりに活かす場をつくります。
◆積極的な参画を促し、自由な意見を引き出すため外部ファシリテーターを活用
◆Facebookなどのソーシャルメディアを活用し、双方向の情報発信と時間・場所を問わない意見交換を実施

※ファシリテーター…会議やミーティングなどで、中立な立場を保ちながら、相互理解に向けて深い議論がなされるよう調整する役割を負った人。

平成25年度の全会計当初予算額

一般会計		352億1,900万円 (325億1,415万円)
特別会計	国民健康保険	83億5,643万円
	後期高齢者医療	6億6,215万円
	介護保険事業	71億8,826万円
	公共下水道事業	39億6,129万円
	土地取得	1億1,245万円
	企業団地造成事業	110万円
	温泉保養センター	2億45万円 (7,928万円)
水道事業会計		22億6,019万円
合計		579億6,134万円 (551億3,533万円)

※()は借換債を除いた実質的な予算額等。
※万円未満を切り捨てて記載してあるため合計額と一致しない場合があります。

にぎわいを創る

新 空き家等実態調査事業
(事業期間:平成25年度)
500万円 【防災課】
市内の空き家等の適正管理の推進を目的とする条例の制定に伴い、管理不全物件数を把握するため、空き家等実態調査委託を行うとともに、管理不全となった空き家等の解消を促進するための対策を検討します。

新 大河津分水さくら公園バリアフリー化整備事業
(事業期間:平成25年度)
3,400万円 【都市計画課】
高齢者や障がい者等すべての人々にとって安全で快適な公園とするため、公園中央に設置してあるシンボルロード等のバリアフリー化整備を行います。



新 消雪施設整備の推進
(事業期間:平成25年度)
6,800万円 【土木課】
交通量の多い通学道路に消雪施設を整備し、歩行者の安全と円滑な交通確保を図ります。

◆柳山幹線他雪寒事業
小池小学校、小池保育園の通学・通園道路
◆弥生町文京町線他雪寒事業
分水中学校の通学路